# Alibaba Cloud

## 云服务器ECS クイックスタート

Document Version: 20200818

C-J Alibaba Cloud

### Legal disclaimer

Alibaba Cloud reminds you to carefully read and fully understand the terms and conditions of this legal disclaimer before you read or use this document. If you have read or used this document, it shall be deemed as your total acceptance of this legal disclaimer.

- 1. You shall download and obtain this document from the Alibaba Cloud website or other Alibaba Cloud-authorized channels, and use this document for your own legal business activities only. The content of this document is considered confidential information of Alibaba Cloud. You shall strictly abide by the confidentiality obligations. No part of this document shall be disclosed or provided to any third party for use without the prior written consent of Alibaba Cloud.
- 2. No part of this document shall be excerpted, translated, reproduced, transmitted, or disseminated by any organization, company or individual in any form or by any means without the prior written consent of Alibaba Cloud.
- 3. The content of this document may be changed because of product version upgrade, adjustment, or other reasons. Alibaba Cloud reserves the right to modify the content of this document without notice and an updated version of this document will be released through Alibaba Cloud-authorized channels from time to time. You should pay attention to the version changes of this document as they occur and download and obtain the most up-to-date version of this document from Alibaba Cloud-authorized channels.
- 4. This document serves only as a reference guide for your use of Alibaba Cloud products and services. Alibaba Cloud provides this document based on the "status quo", "being defective", and "existing functions" of its products and services. Alibaba Cloud makes every effort to provide relevant operational guidance based on existing technologies. However, Alibaba Cloud hereby makes a clear statement that it in no way guarantees the accuracy, integrity, applicability, and reliability of the content of this document, either explicitly or implicitly. Alibaba Cloud shall not take legal responsibility for any errors or lost profits incurred by any organization, company, or individual arising from download, use, or trust in this document. Alibaba Cloud shall not, under any circumstances, take responsibility for any indirect, consequential, punitive, contingent, special, or punitive damages, including lost profits arising from the use or trust in this document (even if Alibaba Cloud has been notified of the possibility of such a loss).
- 5. By law, all the contents in Alibaba Cloud documents, including but not limited to pictures, architecture design, page layout, and text description, are intellectual property of Alibaba Cloud and/or its affiliates. This intellectual property includes, but is not limited to, trademark rights, patent rights, copyrights, and trade secrets. No part of this document shall be used, modified, reproduced, publicly transmitted, changed, disseminated, distributed, or published without the prior written consent of Alibaba Cloud and/or its affiliates. The names owned by Alibaba Cloud shall not be used, published, or reproduced for marketing, advertising, promotion, or other purposes without the prior written consent of Alibaba Cloud", "Alibaba Cloud. The names owned by Alibaba Cloud include, but are not limited to, "Alibaba Cloud", "Aliyun", "HiChina", and other brands of Alibaba Cloud and/or its affiliates, which appear separately or in combination, as well as the auxiliary signs and patterns of the preceding brands, or anything similar to the company names, trade names, trademarks, product or service names, domain names, patterns, logos, marks, signs, or special descriptions that third parties identify as Alibaba Cloud and/or its affiliates.
- 6. Please directly contact Alibaba Cloud for any errors of this document.

### **Document conventions**

Style	Description	Example
<u>À</u> Danger	A danger notice indicates a situation that will cause major system changes, faults, physical injuries, and other adverse results.	Danger: Resetting will result in the loss of user configuration data.
O Warning	A warning notice indicates a situation that may cause major system changes, faults, physical injuries, and other adverse results.	Warning: Restarting will cause business interruption. About 10 minutes are required to restart an instance.
C) Notice	A caution notice indicates warning information, supplementary instructions, and other content that the user must understand.	Notice: If the weight is set to 0, the server no longer receives new requests.
? Note	A note indicates supplemental instructions, best practices, tips, and other content.	Note: You can use Ctrl + A to select all files.
>	Closing angle brackets are used to indicate a multi-level menu cascade.	Click Settings> Network> Set network type.
Bold	Bold formatting is used for buttons , menus, page names, and other UI elements.	Click OK.
Courier font	Courier font is used for commands	Run the cd /d C:/window command to enter the Windows system folder.
Italic	Italic formatting is used for parameters and variables.	bae log listinstanceid Instance_ID
[] or [a b]	This format is used for an optional value, where only one item can be selected.	ipconfig [-all -t]
{} or {a b}	This format is used for a required value, where only one item can be selected.	switch {active stand}

### **Table of Contents**

1.概要	05
2.コンソールでの ECS インスタンスの管理(詳細バージョン)	06
2.1. Linux インスタンスのクイックスタート	06

### 1.概要

ここでは、コンソールを使用したスピーディーなインスタンスの作成、接続およびリリース方法を解説し ます。

ここでは、ECS (Elastic Compute Service) インスタンスを、*ECS インスタンス*または*インスタンス*とします。

このドキュメントは、コンソール操作に対してのみ適用されます。 API ユーザーの方は、API overviewをご参照ください。

#### 手順

- 1. <mark>準備</mark>を完了
- 2. 設定の選択
- 3. インスタンスの作成
- 4. インスタンスに接続
- 5. データディスクが作成されている場合、Linux インスタンスではデータディスクの初期化およびマウ ント、Windows インスタンスではデータディスクの初期化を行う必要があります。
- 6. インスタンスをリリース

### 2.コンソールでの ECS インスタンスの管理 (詳細バージョン)

### 2.1. Linux インスタンスのクイックスタート

このチュートリアルでは、インスタンスタイプが ecs.g6.large のインスタンスに Apache を構成し、 Aliyun Linux 2.1903 LTS 64 ビットを実行する手順について説明します。 このチュートリアルを使用する と、ECS コンソールの操作に関する理解を深めることができます。

クイックスタート ECS スターターユーザーガイド Alibaba Cloud

#### 準備

- 1. アカウントを作成し、アカウント情報を入力します。
  - Alibaba Cloud に登録します。
  - ご利用のクレジットカードまたは PayPal アカウントをバインドします。詳しくは、「支払い方法の追加」をご参照ください。
  - 中国本土リージョンで ECS インスタンスを購入するには、実名登録を完了する必要があります。 詳細については、「実名登録に関する FAQ」をご参照ください。
- (可选) Alibaba Cloud はデフォルトの Virtual Private Cloud (VPC) を提供します。 デフォルトの VPC を使用しない場合、ターゲットリージョンに VPC と VSwitch を作成することができます。詳細 については、「IPv4 VPC の作成」をご参照ください。
- (可选) Alibaba Cloud はデフォルトのセキュリティグループを提供します。 デフォルトのセキュリ ティグループを使用しない場合、ターゲットリージョンにセキュリティグループを作成することがで きます。セキュリティグループの作成方法については、「セキュリティグループの作成」をご参照く ださい。

#### 手順 1: ECS インスタンスの作成

- 1. ECS コンソールのカスタム起動タブに移動します。
- 購入ページの最初の4つの構成ステップで、インスタンスの起動設定を完了します。このチュートリアルで使用される設定は次のとおりです。このチュートリアルで説明されていないパラメーターについては、デフォルト設定のままにしてください。

手順	パラメーター	例	説明
----	--------	---	----

#### 云服务器ECS・コンソールでの ECS インスタンスの管理(詳細バージョン)

手順	パラメーター	例	説明
基本設定	課金方法	従量課金	従量制の課金方法により、より柔軟 な運用が可能になります。 詳細に ついては、「課金概要」をご参照く ださい。
			⑦ 説明 ドメイン名に ICP ファイリングが必要な場合 は、[サブスクリプション]を選 択します。
	リージョン	○ リージョン:中国(杭州) ○ ゾーン:ランダム	インスタンスの作成後、リージョン またはゾーンを変更することはでき ません。 このパラメーターの設定 は、慎重に行ってください。
	インスタンスタ イプ	<ul> <li>ファミリー:一般用途タイプ g6</li> <li>インスタンスタイプ: ecs.g6.large</li> </ul>	使用可能なインスタンスタイプは、 選択したリージョンとリージョン内 のインベントリに応じて決まりま す。
	イメージ	<ul> <li>タイプ: パブリックイメージ</li> <li>バージョン: Aliyun Linux</li> <li>2.1903 LTS 64 ビット</li> </ul>	インスタンスが起動すると、オペ レーティングシステムとイメージの アプリケーションデータがシステム ディスクにコピーされます。
ネット ワーク	VPC	[Default]vpc- bp1opxu1zkhn00g****	実際のニーズに基づいて作成された VPC を選択します。 [default] の プレフィックスが付いているリソー スが ECS コンソールで自動的に作 成されます。
	パブリック IP アドレスの割り 当て	[パブリック IP アドレスの割り当て] を選択します。	[パブリック IP アドレスの割り当て] を選択すると、パブリック IPv4 ア ドレスが割り当てられます。
	帯域幅の請求	トラフィック課金	[トラフィック課金] モードでは、帯 域幅はネットワーク使用量に基づい て課金されます。 詳細について は、「インターネット帯域幅の課金 方法」をご参照ください。
	ピーク帯域幅	2 Mbps	なし。

#### 云服务器ECS・コンソールでの ECS インスタンスの管理(詳細バージョン)

云服务器ECS

手順	パラメーター	例	説明
	セキュリティグ ループ	[Default]sg- bp1bhjjsoiyx44hd****	実際のニーズに基づいて作成された セキュリティグループを選択しま す。 [default] のプレフィックスが 付いているリソースが ECS コン ソールで自動的に作成されます。
システム 設定 (オ プション)	ログイン資格情 報	パスワード	このチュートリアルでは、 [パス ワード] を選択し、リモート接続用 のパスワードを設定して、ECS イン スタンスにログインします。
	ログインパス ワード	Ecs 123456	設定する場合は、ログインパスワー ドおよびパスワードの確認パラメー ターを設定する必要があります。 [ログイン資格情報] を [パスワード] に設定します。設定した ルー ト ログインユーザー名とログイン パスワードは、ECS インスタンスに 接続する際に必要になります。
	インスタンス名	EcsQuickStart	このチュートリアルでは、インスタ ンス名として EcsQuickStart を使 用しています。
グループ 化 (オプ ション)	タグ	ECS:Documentation	複数のインスタンスを作成する場 合、簡単に管理できるようにするた め、インスタンスにタグをバインド することを推奨します。

- 3. [次へ: プレビュー]をクリックします。 プレビューステップで、[選択された構成]を確定するか、または アイコンをクリックして、構成を変更します。
- 4. (可选) [起動テンプレートの作成] をクリックします。 テンプレート名とバージョンの説明を設定します。

⑦ 説明 現在のインスタンス用に選択された構成を起動テンプレートとして保存します。テン プレートを使用すると、ワンクリックでインスタンスを作成できます。

- 5. [ECS 利用規約]を読んで、選択します。[インスタンスの作成]をクリックします。
- 表示される [作成] メッセージで、[コンソール] をクリックし、[インスタンス] ページに移動して、作成の進行状況を確認します。
   インスタンスのステータスが [実行中] の場合、インスタンスが作成されます。 ECS インスタンスに 接続する際に使用するパブリック IP アドレスをコピーします。

クイックスタート - Linux - 作成

#### 手順 2: セキュリティグループルールの追加

インスタンスの作成時にデフォルトのセキュリティグループにルールを追加しない場合、またはインスタ ンスを新しいセキュリティグループに追加する場合は、次の操作を実行します。

- 1. インスタンス ID をクリックして、[インスタンス詳細] ページに移動します。
- 2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[セキュリティグループ] をクリックします。 セキュリティグ ループ ID をクリックして、セキュリティグループの詳細ページに移動します。
- 3. [セキュリティグループルール] ページで、 [インバウンド] タブをクリックします。
- 4. [クイックルールの作成] をクリックし、次の表の説明に従って、セキュリティグループルールを追加 します。 このチュートリアルで説明されていないパラメーターはデフォルト設定のままにしてくださ

い。クイックスタート - Linux-セキュリティグループルールの追加

操作	共通ポート (TCP)	権限付与オブジェクト
許可	<ul> <li>SSH (22)</li> <li>RDP (3389)</li> <li>HTTP (80)</li> <li>HTTPS (443)</li> </ul>	0.0.0/0

- ? 説明
  - [共通ポート (TCP)]では、ECS インスタンスで実行するアプリケーションに対して有効化 するポートを選択します。たとえば、手順 4: Apache の設定で SSH と Apache を使用し たい場合、このステップでは、SSH (22) と HTTP (80)を選択する必要があります。そう しない場合、後続の操作でインスタンスが応答しません。
  - 0.0.0.0/0 の場合は、すべての CIDR ブロック内のデバイスが指定されたポートにアクセスできることを示します。 リクエスターの IP アドレスがわかっている場合は、この IP アドレスを含む特定の IP アドレス範囲に権限付与オブジェクト設定することを推奨します。
- 5. [OK] をクリックします。

#### 手順 3: ECS インスタンスに接続

- 1. [インスタンス]ページに戻り、EcsQuickStart インスタンスを見つけます。
- 2. [アクション]列で[接続]をクリックします。
- 3. 表示される [VNC パスワードの入力] ダイアログボックスで、[VNC パスワードの変更] をクリックします。
- 4. プロンプトに従ってパスワードを変更します。表示される [VNC パスワードの入力] ダイアログボックスで、新しいパスワードを入力します。 [OK] をクリックします。
- 5. ログイン資格情報を設定します。
  - ユーザー名: root を入力します。
  - パスワード: [ログイン資格情報] セクションで設定した [ログインパスワード] を入力します。 このチュートリアルでは、 Ecs123456 を使用しています。

パスワードを入力する際、Passowrd:の横のセクションは黒のままで、メッセージは表示されませ

ん。ルートのパスワード

#### 手順 4: Apache の設定

- 1. Apache をインストールします。 yum install -y httpd
- 2. Apache を起動します。

systemctl start httpd

3. システムの起動時に Apache を実行できるようにします。

systemctl enable httpd

4. Apache が実行されているかどうかを確認します。

systemctl status httpd

active (running) コマンド出力の場合は、Apache が実行中であることを示します。

5. 現在のブラウザで Web ページを開きます。 インスタンスのパブリック IP アドレスをアドレスバーに 入力し、Enter キーを押します。

http://<Public IP address of the instance>

クイックスタート - Linux - テストページ

#### |手順 5: (任意) ドメイン名の解決

インスタンスのパブリック IP アドレスを使用して、Apache に直接アクセスすると、サーバーのセキュリ ティが低下する可能性があります。 すでにドメイン名を持っているか、Apache Web サイトにドメイン 名を登録する場合は、次の手順を実行します。

- 1. ドメイン名を登録します。詳細については、「ドメイン名の登録」をご参照ください。
- 2. ドメイン名が指す Web サイトが中国本土リージョンの ECS インスタンスでホストされている場合 は、ドメイン名の ICP 申請をする必要があります。詳細については、「ICP 登録申請の概要」をご参 照ください。
- インスタンスのパブリック IP アドレスを指すようにドメイン名を解決します。Web サイトにアクセ スするためにドメイン名を使用する際、ドメイン名の解決は前提条件になります。 詳細については、 「」「レコードの追加・管理」「」をご参照ください。
- 4. 解決されたドメイン名を使用して Apache にアクセスします。 例: https://ecs-quickstarts.info。

#### 手順 6: (任意) ECS インスタンスのリリース

不要になったインスタンスはリリースできます。 インスタンスがリリースされると、課金は停止されま す。また、データは復元できません。

⑦ 説明 このセクションの手順を実行すると、従量課金制のインスタンスのみをリリースできます。

- 1. [インスタンス] ページに戻り、EcsQuickStart インスタンスを見つけます。
- 2. [アクション]列で、[詳細]>[インスタンスのステータス]>[リリース]を選択します。
- 表示される [リリース] ダイアログボックスで、[リリースモード] を[今すぐリリース] に設定し、[次へ] をクリックします。
- 4. リリースするインスタンスを確認して、[OK]をクリックします。

#### 手順 7:請求書の表示

- 1. 上部のナビゲーションバーで、[課金]>[ユーザーセンター]を選択します。
- 2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[利用状況] > [インスタンスの利用状況] を選択します。
- 3. **[検索方法]** を **[インスタンス ID]** に設定します。 EcsQuickStart インスタンスの ID を入力します。 Enter キーを押して、検索を開始します。

#### 次のステップ

- 使用可能なインスタンスタイプの詳細については、「インスタンスタイプファミリー」をご参照ください。
- ECS インスタンスの作成方法については、「作成方法の概要」をご参照ください。
- イメージに関する詳細については、「イメージ」をご参照ください。
- セキュリティグループに関する詳細については、「セキュリティグループ」をご参照ください。
- VPC の詳細については、「VPC とは」をご参照ください。
- 設定の詳細については、「クイックリファレンス」をご参照ください。
- ECS が提供する API 操作の詳細については、「API 概要」をご参照ください。